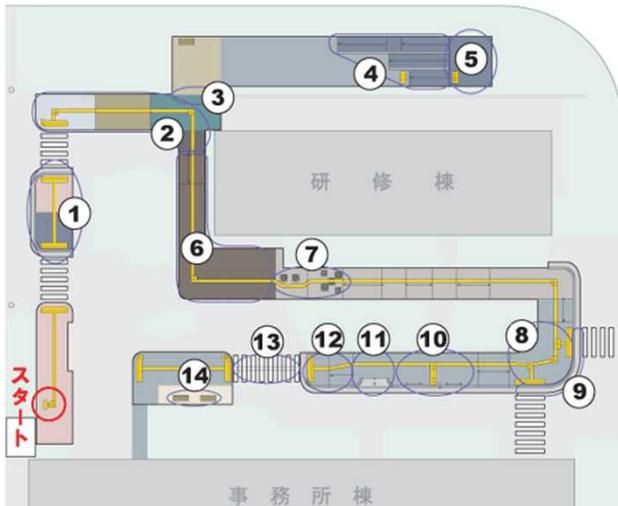


中部地方整備局のバリアフリーの取り組み

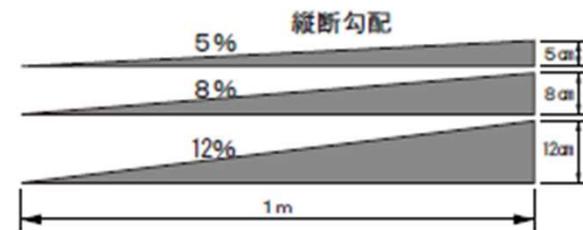
令和5年 8月1日

 国土交通省 中部地方整備局

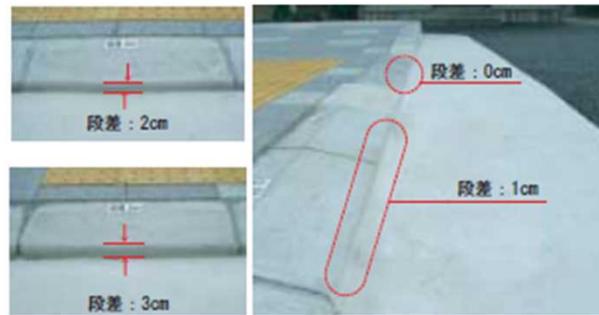
中部技術事務所(名古屋市東区大幸南)構内には、バリアフリー体験歩道施設があり、開庁日の午前10時から12時まで、および午後2時から4時まで、体験参加の受付をしています(利用申込書の提出による事前申込みが必要です)。



体験メニューは全部で14種類※



車いすによる④スロープ
(坂路:5・8・12%)走行体験



車いすによる⑨段差(0・1・2・3cm)走行体験



2・3cmの段差を昇るにはちょっとしたコツが必要ですよ！

<令和4年度における体験実績>

小学生、中学生、自治体から、123名の方が体験されました。DXセンター見学とセットで体験をして頂くなど、多くの方にお越し頂きました。

白杖体験では、点字ブロックの上に自転車を置いて体験してもらいました。点字ブロックの上に自転車があると、視覚障害の方にとって大変な障壁になることが分かったとご意見を頂きました。

※①透水性舗装②誘導ブロックと舗装面の輝度比 ③グレーチング(側溝のふた)⑤車いすの回転スペース ⑥ガタツキの少ないブロック舗装 ⑦誘導ブロックとマンホール ⑧交差点付近の誘導ブロック⑩バス停 ⑪車両乗り入れ部⑫斜めの誘導ブロック ⑬エスコートゾーン ⑭ユニバーサルデザインベンチ



介助者と誘導ブロックの上を歩く視覚障害体験



点字ブロックの上に自転車や看板があるととても危険です

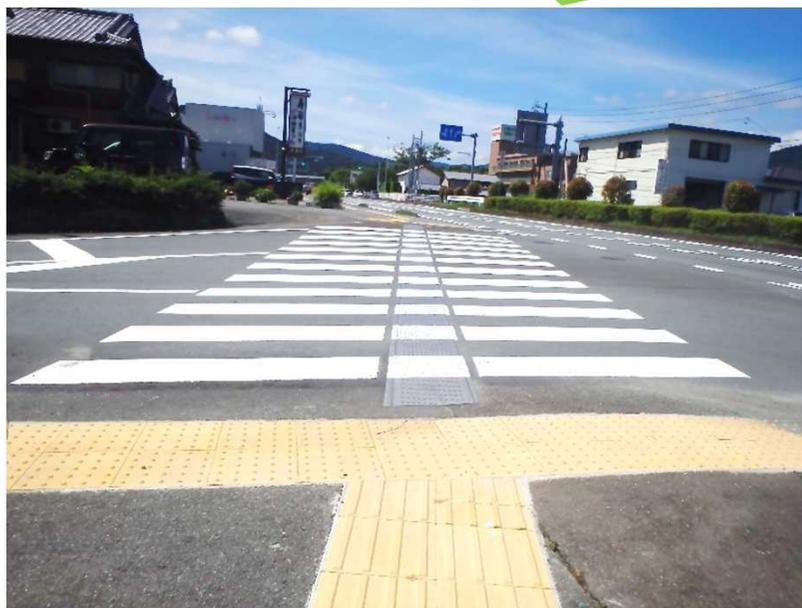
- R1に新たに追加指定された「高齢者、障がい者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー法)」に基づく特定道路のバリアフリー化に取り組んでいる
- 管内(4県)の特定道路約18kmのうち約17kmを対策済みであり、引き続き整備を推進する

対策事例 三重県伊勢市 国道23号伊勢IC南交差点～中村町交差点

伊勢神宮等の観光施設が集積し多くの観光客が訪れる地域であることから、伊勢市交通バリアフリー基本構想で五十鈴川駅周辺地区として重点整備地区に位置付けられており、バリアフリー化整備が必要とされている地域

視覚障がい者誘導用ブロックの設置

- 前方の危険を予告が可能
- 視覚障がい者が安全に歩くことが可能
- 交差道路でも迷うことなく歩くことが可能



【伊勢IC南交差点付近(下り交差点南側)】

横断勾配(アップダウン)の緩和

- 車いす等の身体障がい者や高齢者が通行しやすくなる



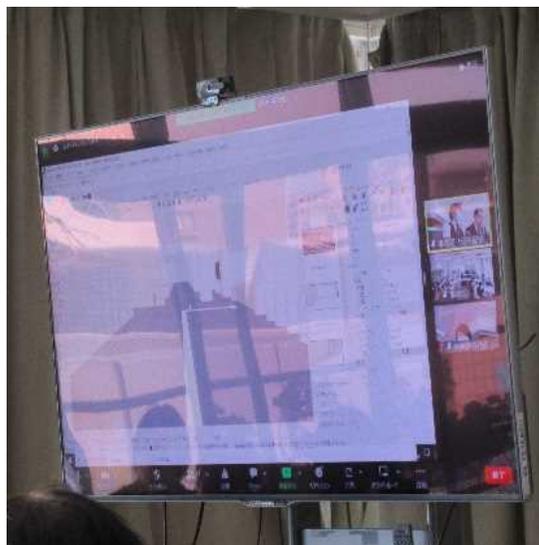
【楠部町交差点付近(上り交差点北側)】

名古屋第4合同庁舎整備事業での取組事例

- 国の庁舎として「働きやすく使いやすい」と「気軽に訪れる施設」の二つをテーマに、設計段階のユニバーサルデザイン（以下UD）ワークショップを開催。
- 学識経験者がアドバイザーとして、30余の障がい関係者団体に所属する計32名の方が参加。
- 主に、建物への誘導方法やトイレ周りなどの計画について図面や3Dによる画像空間を活用して説明を行い、参加者から100を超える意見を聴取。設計に反映するよう検討。
- 今後、施工段階におけるUDワークショップを開催予定。

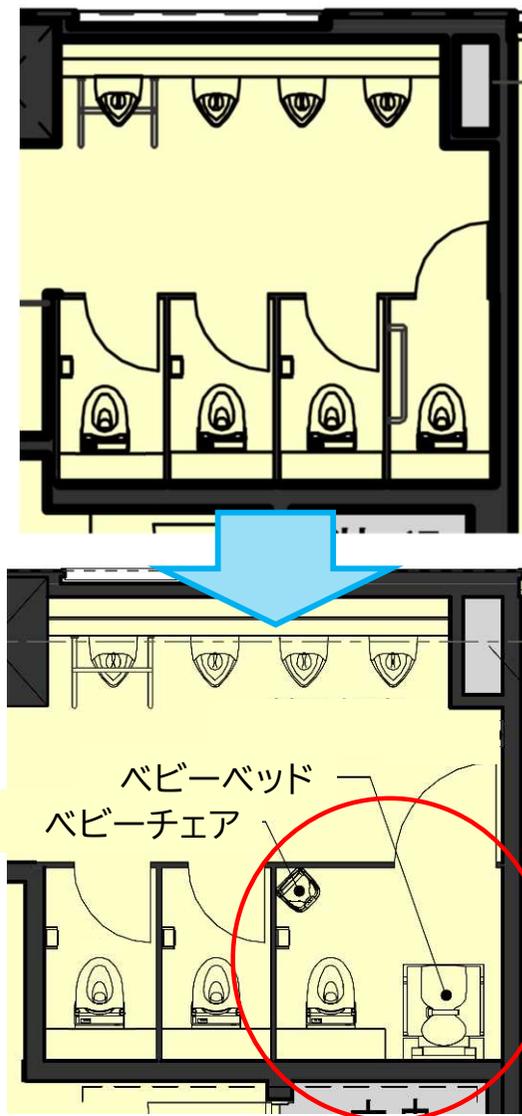


開催風景(現地参加+Web参加)



3Dモデルを用いた説明

トイレレイアウト改善案(例)



ベビーベッドなどをバリアフリートイレから男女トイレのブースに設置し機能を分散